



～ 学習講演会 ～

食・農・地域は誰が守るのか

～国連『家族農業の10年』を活かす～



<講師プロフィール>

岡崎 衆史 (おかざき しゅうし)

- ・ 農民運動全国連合会 国際部副部長
- ・ 市民団体、労組、農民団体、弁護士、大学教授などで構成する「TPPテキスト分析チーム」の農産品関税問題担当
- ・ 雑誌「日本人とさかな」、農文協「季刊 地域」などで家族農業についての執筆多数
- ・ 1973年生まれ 岩手県矢巾町出身

「家族農業の10年」とは

国連総会は「2019年～2028年を『家族農業の10年』にする」と2017年12月に決定。持続的で環境への負荷が低い農業、飢餓に立ち向かう生産を守るために、家族農業を振興することを目標としている

農村は高齢化・担い手不足。安全・安心な国産の農産物が食べられなくなるおそれが高まっています。政府・財界は農業への企業参入を促進。これでは「一部の食品産業が栄えて農村滅びる」ということになりかねません。

食・農・地域社会は誰が守るのでしょうか。農家も非農家も含め、私たち市民にできることは…？

折しも2019年から国連「家族農業の10年」がスタートしています。その日本国内でのアクションに奮闘する岡崎さんに、食・農をめぐる世界の流れと具体的な動きを語っていただきます。

持続的で豊かな食・農・地域社会を目指すこの流れを活かす道筋をご一緒に考えましょう。

日時: **3月3日(火)**
10:00～12:00

会場: **岩手県公会堂 2階 21号室**
(盛岡市内丸11-2)

講師: **岡崎 衆史さん**

(農民運動全国連合会 国際部副部長)

参加無料

※保育もあります(要予約。1歳以上200円。締切2/27)

※12:00～12:30 いわて食・農ネットの総会を行います

主催: **いわて食・農・地域を守る県民運動ネットワーク (いわて食・農ネット)**

(滝沢市土沢220-3 岩手県生協連 内 電話 019-684-2225 F a x 019-684-2227)

blog : <http://iwanone.exblog.jp/>

twitter : <https://twitter.com/iwatanone>